

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	しんがくどう宮崎		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 16日 ～ 令和8年 3月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65名	(回答者数) 43名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 16日 ～ 令和8年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに応じた丁寧で専門性のある支援が提供されている点	・個別支援計画に基づいた支援の実施 ・児童の特性に応じた個別対応や小集団活動の実施 ・職員間での情報共有やカンファレンスの実施	・アセスメント手法や支援内容の更なる標準化 ・職員研修の充実による専門性の向上 ・支援内容の見える化（保護者への発信強化）
2	保護者との信頼関係が構築されており、満足度が高い点	・連絡帳や面談を通じた丁寧な情報共有 ・保護者の意向を踏まえた個別支援計画の作成 ・相談しやすい関係性の構築	・相談体制の更なる周知（児童自身の相談機会含む） ・保護者向け研修や交流機会の充実 ・支援内容や事例の共有強化
3	多様な活動プログラムにより、子どもが楽しみながら通所できている点	・活動が固定化しないようプログラムの工夫 ・個別活動と集団活動の組み合わせ ・子どもの興味関心に合わせた活動提供	・年齢や発達段階に応じたプログラムの更なる充実 ・自己選択・自己決定を促す活動の強化 ・中高生向け支援内容の拡充

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースや環境面（屋外活動含む）に関する課題	・施設構造上のスペース制約 ・戸外活動の実施機会の不足 ・利用児童数や活動内容の多様化	・グループ分けや時間調整による空間活用の工夫 ・公園等の地域資源の積極的活用 ・活動内容に応じた環境設定の見直し
2	情報共有・見える化（支援内容・体制）の不足	・支援内容やプログラムの説明機会の不足 ・職員体制や役割の周知不足 ・情報発信手段の統一不足	・支援プログラムや活動の見える化（資料・SNS等） ・職員紹介や体制の明確化 ・保護者への定期的な情報発信の強化
3	地域連携・外部交流および家族支援の機会の不足	・安全面や特性への配慮による活動制限 ・保護者の参加しづらさ（時間・日程） ・外部機関との連携機会の不足	・段階的な地域交流機会の創出 ・オンライン等を活用した保護者支援の充実 ・関係機関との連携強化および外部資源の活用